



昭和45年度足立区財政状況の公表から

年々ふえる行政需要

1人あたりの区民税負担額は5,050円

いま、足立区では街づくりが盛んに行なわれ、住宅、道路、公園などがたくさん建設されています。したがって、区の人口も年々ふえ、46年1月1日現在で57万7931人となり、これからも区画整理の進行とともに、住宅を中心とした区として発展していくでしょう。

区では、このような状況をふまえて、41年度から5か年計画を立て、各種の区民サービス施設を建設し生活環境の整備に努力してまいりました。それでも区がしなければならない仕事は年々ふえる一方です。そこで、区民のみならずとも、46年度に新しい足立区づくりをめざす「長期基本計画」を立て、推し進めていきます。

今回は、46年6月に足立区告示第70号で公表された「昭和45年10月1日から昭和46年3月31日までの足立区の財政状況」について、そのあらましをご説明します。なお、昭和46年度の予算内容については、近く「特集号」でお知らせします。

昭和45年度予算の概要

■ 一般会計

昭和45年度の予算は、生活環境の整備・青少年の健全育成・社会福祉の充実、という区政三本の柱を中心とした、重点施策の積極的推進、5か年計画の最終年度予算として計上、執行しました。

予算の編成にあたっては、「経費の節減と事務の効率化」「積極的健全財政の確立」という方針をさらに徹底させ、46年3月末日現在の最終予算額は、172億9,006万7千円となりました。

このうち、上半期(45年9月末日現在)には、148億4,219万2千円を計上し、下半期にはいりまして、特別区税、特別区交付金、国庫支出金等を財源に、4回の補正予算を組みました。

下半期の補正予算の内容は、およそ次のとおりです。

下半期の補正予算

【補正第3号(昭和45年10月6日議決)】
……1,684,289千円
【おまな内容】千住区民福祉センター(仮称)建設/西綾瀬保育園(仮称)建設/第二千住保育園(仮称)建設/土木工事

用材置場新設2か所/道路補修30,090㎡/側溝新設改良2,876㎡/ガードレール設置3,571㎡/歩道新設(水路のふたかけ)1,912㎡/私道の整備助成/区内緑化(植樹)/北千住・西新井駅前広場の造成/新田小学校防音改築/江北幼稚園(仮称)建設/区債発行に伴う利子及び支払手数料/職員の人件費

【補正第4号(昭和45年12月9日議決)】
……386,116千円
【おまな内容】財団法人足立区開発公社への出資金/東京都知事・東京都足立区議会議員選挙経費/千住区民福祉センター用地購入/栗原(仮称)・西綾瀬(仮称)保育園の用地購入/勝専寺・竜田町公衆便所改築/道路右側作成/道路応急修繕/道路拡幅100㎡/道路補修4,580㎡/側溝新設改良4,185㎡/歩道新設(水路のふたかけ)790㎡/私道の整備助成/水路のしゅんせつ2,500㎡/水路の改良440㎡/千住東公園(仮称)の用地購入/区債発行に伴う利子及び支払手数料

【補正第5号(昭和46年3月5日議決)】
……377,470千円
【おまな内容】生活保護費の減額/土木工事用材置場新設/私道の整備助成/

柳原東(仮称)・江北(仮称)・西新井第二児童遊園の用地購入/江北幼稚園(仮称)用地購入/職員の人件費
【補正第6号(昭和46年3月30日専決)】
……3,000千円

【おまな内容】千住区民福祉センター(仮称)建設に伴う区債収入の追加(既計上額5,500万円)

【歳入・歳出別予算の執行状況】
45年度予算についての執行状況をみると、予算原額172億9,006万7千円に対し、歳入では164億37万1千円が収入され、収入率94.9%となり、歳出では143億8,159万7千円、83.2%の支出となっています。この費目別内容は、表-1、表-2に示したとおりです。

【表-1】 昭和45年度一般会計歳入予算収入状況 (46.3.31現在)

Table with 4 columns: 科(目), 予算額(千円), 収入額(千円), 収入率(%). Rows include 特別区税, 特別区交付金, 分担金及び負担金, etc.

【表-2】 昭和45年度一般会計歳出予算支出状況 (46.3.31現在)

Table with 4 columns: 科(目), 予算額(千円), 支出額(千円), 支出率(%). Rows include 議会費, 総務費, 民生費, etc.

■ 国民健康保険特別会計

区では、国民健康保険事業を特別会計としています。この会計は、主として保険料と国・都の支出金でまかなわれています。

昭和45年9月末日現在の予算額は、26億1,347万8千円となっていました。下半期に2回の補正を行ないました。その結果、昭和45年3月末日現在、28億9,361万3千円となり、このうち、27億8,219万3千円が収入され、収入率96.1%となり、支出額は、23億1,612万円、支出率80%となっています。

■ 用地特別会計

現在、区は学校をはじめ、各種の区民施設の建設に追われています。しかし、土地の急激な値上がりなどのため、必要とする土地が、なかなか手に入りません。このため、昭和43年度から「用地特別会計」を設け、さらに、46年1月足立区開発公社を設立し、公共用地の確保に努めています。

昭和45年9月末日現在、この予算額は、3億40万円となっていました。下半期に2回の補正を行ない、昭和46年3月末日現在、6億310万円となりました。

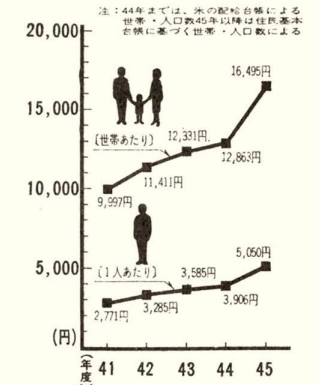
このうち、65%の3億9,400万2千円が収入され、48%、2億8,991万8千円が支出されています。

区民税負担の概況

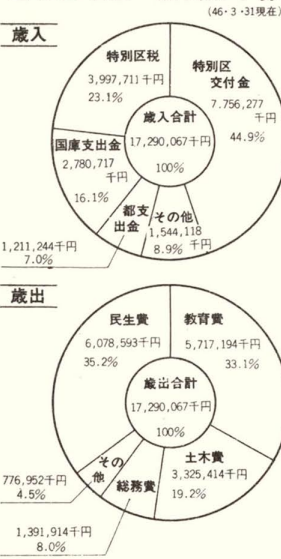
昭和46年3月末日現在の特別区民税の区民負担額は、次に示したとおりです。

Table with 5 columns: 年度, 区民税測定額, 世帯数, 世帯あたり負担額, 人口, 一人あたり負担額. Rows for 昭和45年度, 昭和44年度, 増(△)減, 増(△)減率.

区民税負担の移り変わり



昭和45年度一般会計予算



財産・公債・一時借入金

■ 区有財産

区が所有している財産は、昭和46年3月末日現在で、総額484億4,547万7千円です。これを昭和46年4月1日現在の区の人口57万9,013人、世帯数18万1,682世帯で割ってみると、一人あたり8万3,669円、一世帯あたり26万6,650円となります。

昭和45年度区有財産

Table with 3 columns: 区分, 金額(千円), 備考. Rows include 土地建物, 立木・竹等, 株券等, 基金, 物品.

■ 公債

区では、財源確保の一つとして、区債を発行していますが、昭和46年3月末日現在の公債総額は、30億8,352万6千円となっ

ています。その内訳は次のとおり。
社会福祉施設建設債 9,562万4千円
社会福祉施設建設 用地買収債 3,900万円
公園用地買収債 5億7,241万円
学校施設整備債 6,439万2千円
学校用地買収債 18億6,620万円
運動場用地買収債 4億4,590万円

■ 一時借入金

歳計現金が不足する場合、予算に定めるところにより現金を一時借入れることができます。これを「一時借入金」といいますが、3月末日現在一時借入金はありません。

東京都執行委任予算

この予算は、区一般会計、特別会計とは別に、都の事務事業の一部を都知事から区が委任を受けて執行しているものです。そのおまな内容は、区立小・中学校職員の給与、失業対策事業経費、母子福祉資金貸付金などです。昭和46年3月末日現在の執行委任額、およびその執行状況は、次のとおりです。

執行委任額および執行状況

Table with 4 columns: 科(目), 執行委員額(千円), 支出額(千円), 支出率(%). Rows include 一般会計, 首都整備計画費, 民生費, etc.

繰越予算の執行状況

昭和44年度予算のうち、昭和45年度に繰越された予算(44年度繰越明許費)は、17事業、4億4,419万9千円ありましたが、これらの執行状況は、次のとおりです。

昭和44年度予算のうち昭和45年度に繰越された予算の支出状況

Table with 4 columns: 科(目), 予算額(千円), 支出額(千円), 支出率(%). Rows include 総務費, 民生費, 土木費, 教育費.